

議案第63号 附属資料

令和7年度

高野町一般会計補正予算（補正第7号）の概要

高野町

1 2月補正予算（一般会計補正第7号）のポイント

今回の補正予算は、本年8月10日から11日及び10月14日から15日にかけて発生した豪雨被害への対応のため災害復旧事業費65,400千円を計上したほか、土木設計積算システム更改に伴い債務負担行為を設定しました。

また、令和6年度の人事院勧告に基づき民間給与との格差を是正するため給与改定を行ったほか、民間の支給状況に見合うよう期末勤勉手当を0.05月分引き上げる改定分を計上しました。

そのうえで、なお超過する歳入については、今後の政策的事業や不測の財政需要への対応に必要な財源を確保するため、財政調整基金に積立金30,000千円を計上し、総額68,300千円を追加した補正後の予算額は4,487,600千円（前年同期△27.6%）となりました。

★歳入の状況

事業の進捗に応じ国・県支出金を調整したほか、本年8月と10月に発生した豪雨により被災した町道を復旧するため災害復旧事業国庫負担金及び災害復旧事業債を計上しました。

■国県支出金

国庫支出金は、公共土木施設復旧事業負担金43,621千円を追加するほか、事業の進捗状況に応じて調整等を行い、総額で16,617千円を減額しました。

■繰入金

後期高齢者医療特別会計において、前年度の療養給付費負担金の精算により返還金が生じたため繰入金8,495千円を計上しました。このほか、事業の進捗状況に併せて、財政調整基金繰入金4,800千円及びふるさと応援寄附基金繰入金3,350千円を減額しました。

■諸収入

事業の進捗に合わせた所要の調整をしました。

■町債

補助災害復旧費の地方負担分として現年発生道路補助災害復旧事業債21,700千円を計上したほか、災害復旧計画を策定するための測量設計業務分として道路一般単独災害復旧事業債4,200千円を計上しました。

★歳出の状況

人事院勧告に基づき人件費を追加計上したほか、８月と１０月の豪雨被害への対応を行うとともに、事業の進捗に応じた調整を行いました。

■共通事項

<人件費>

人事院勧告に基づき、民間給与との較差を是正するため、給料表を引き上げ改定すると共に、期末手当及び勤勉手当それぞれ０．０２５月分を増額しました。正職員の給与１２，６１０千円、期末手当３，１９４千円、勤勉手当２，８９６千円、会計年度任用職員報酬６８７千円、期末手当３６３千円、勤勉手当３１３千円を追加計上した一方で、職員の退職等による異動等の調整を加えた結果、総額で２８，９７６千円を減額しました。

■総務費

<一般管理費>

(総務庶務事業)

本年度より、県の消費生活相談事業を活用しているため、委託料２７０千円を減額しました。

<会計管理費>

(会計管理事業)

令和８年３月より国庫への支払い方法が従来の方法からマルチペイメントネットワークシステム（Pay-easy ペイジー）を活用した電子納付のみとなること等から、インターネットバンキングにかかる使用料１０千円を計上しました。

<基金管理費>

(基金管理事業)

今回の補正予算編成において超過する歳入については、今後の政策的事業や不測の財政需要への対応に必要な財源を確保するため、財政調整基金積立金３０，０００千円を計上しました。

なお、財政調整基金の令和７年度末残高は１，２７７，３１７千円となる見込みです。

<財産管理費>

(庁舎管理事業)

昨今の物価高騰により不足が見込まれる光熱水費 2 4 0 千円を追加しました。

(旧教育施設管理事業)

町内会長から、旧高野山小学校周辺の樹木について伐採要望があったため、伐採業務委託料 4 4 4 千円を計上しました。

(集会所管理事業)

花坂地区において、簡易水道が供用開始したことにより、花坂多目的集会所等への水道引き込みを行うため、工事費 4 9 5 千円を計上しました。

(公共施設除去事業)

学びの杜施設の供用開始に伴い、旧高野山小学校を除却するための基本設計業務委託料 4, 2 0 2 千円を計上しました。

<企画費>

(歴史友好都市交流事業)

令和 6 年の世界遺産登録 20 周年を契機として、四国各県の高野町ゆかりの市町との連携強化を進めています。その一環として、「西の高野」と称される太龍寺等、豊かな歴史と文化を有する徳島県阿南市と「歴史友好都市」締結を行うための経費 3 7 0 千円を計上しました。

<地域振興費>

(移住定住促進事業)

想定していた相談件数を大きく下回ったため、不用が見込まれる補助金 3, 0 0 0 千円を減額しました。

(移住定住促進住宅運営管理事業)

花坂地区において、簡易水道が供用開始したことにより、花坂お試し住宅への水道引き込みを行うため、工事費 1 8 6 千円を計上しました。

(地域おこし協力隊募集・インターン活動事業)

求人募集のため総務省地域おこし協力隊イベントへの出展を計画していたが、申込期日時点で採用候補者がいたため出展を中止し、これにより不用が見込まれる出展料 2 1 1 千円を減額しました。

<防災諸費>

(防災対策事業)

令和 7 年 9 月 3 0 日に開催した防災会議で改定した地域防災計画の冊子を作成するため印刷製本費 2 3 1 千円を計上しました。

<戸籍住民基本台帳>

(戸籍事業)

改正戸籍法に基づき実施していた振り仮名通知業務完了により、不用が見込まれる経費506千円を減額しました。

<指定統計調査費>

(指定統計調査事業)

事業の進捗状況に応じた予算調整を行いました。

■民生費

<社会福祉費>

(国民健康保険事業繰出金)

人事院勧告による人件費の調整等を行いました。

<高齢者福祉費>

(介護保険会計繰出金)

人事院勧告による人件費の調整を行いました。

(後期高齢者医療事業繰出金)

後期高齢者医療保険における保険基盤安定制度負担金が確定したため繰出金を調整しました。

<国民年金事務取扱費>

(国民年金事務事業)

特定親族扶養特別控除の創設により、既存システム改修が必要なため、委託料451千円を計上しました。

<保健福祉センター費>

(保健福祉センター運営事業)

昨今の物価高騰の影響を受けて電気料金が上昇し、年度末までに不足が見込まれるため、光熱水費85千円を計上しました。

<物価高騰対応重点支援給付金事業費>

(低所得者支援給付金事業 (令和6年度住民税均等割非課税世帯))

事業完了に伴い不用額2,567千円を減額しました。なお、給付実績は436世帯で支給率84.2%でした。

<こども園費>

(認定こども園運営事業)

昨今の物価高騰の影響を受け電気料金が上昇し、年度末までに不足が見込まれるため、光熱水費210千円を計上しました。

<子育て支援事業費>

(要保護児童対策地域協議会運営事業)

過年度の実績報告の修正による返還金86千円を計上しました。

■衛生費

<予防費>

(予防接種事業)

令和6年度の新型コロナウイルスワクチン接種の実績額確定による返還金351千円を計上しました。

<母子保健費>

(子育て世代包括支援センター事業)

令和6年度の事業精算完了による返還金48千円を計上しました。

(出産・すくすく子育て応援事業)

令和6年度の事業精算完了による返還金404千円及び人事院勧告に伴う人件費の調整を行いました。

<環境衛生費>

(斎場運営事業)

電話の基本料金改定により年度末までに不足が見込まれるため電信料100千円を計上しました。

■農林業費

<鳥獣対策費>

(有害鳥獣被害防止対策事業)

狩猟免許の新規取得者に対する補助金額が確定したため、不用額104千円を減額しました。

(有害鳥獣捕獲対策事業)

有害鳥獣捕獲数が当初を上回る見込みがあることから、不足が見込まれる補助金753千円を計上しました。

<林業振興費>

(誕生祝い品事業)

当初想定していた出生数を下回ったため、「木製おもちゃ」の作成を見送ったことにより不用額390千円を減額しました。

■商工費

<観光費>

(アクセスバス運行事業)

関西空港と高野山を結ぶ関空線の運行再開が無かったことから、不用額1,000千円を減額しました。

(観光振興事業)

花坂矢立及び高野龍神スカイライン高野山料金所跡に設置している車両通行管理機器の通信システムが令和8年3月から第4世代移動通信システムに変更されるため、既存機器では対応が不可能となることから、機器を更新するため所要額591千円を計上しました。

(公衆便所管理運営事業)

花坂地区において簡易水道が供用開始したことにより、矢立公衆便所への水道引き込みを行うため、工事費157千円及び給水負担金165千円を計上しました。

(団体旅行誘致推進事業)

当初想定利用団体数を下回ったため不用が見込まれる委託料1,457千円を減額しました

■土木費

<道路橋梁維持費>

(町道等維持修繕事業)

住民等から町道等の修繕要望や突発的な修繕に対応したことにより、年度末までに不足が生じる見込みであることから、今後発生する修繕等に対応するため、本年度の残土搬出が無く不用となる委託料を単価契約工事へ予算の組み換えしました。

■消防費

<常備消防費>

(消防本部運営事業)

橋本市消防本部へ委託している富貴地区の救急応援について、本年度の救急応援回数が当初を上回り出動していることから、年度末までに不足が生じるため負担金1,000千円を計上しました。

(消防職員教育事業)

旅費条例の改正に伴い不足が見込まれる旅費3千円を計上したほか、不用となる消防学校の入校負担金129千円を減額しました。

(火災・救急・救助活動事業)

救急出動増加により救急毛布のクリーニング回数が増加し、年度末までに不足が見込まれるため80千円を計上しました。このほか、多言語電話通話・簡易翻訳サービスを単独で運用することを予定していましたが、橋本・伊都消防指令センターで運用することになったため不用額132千円を減額しました。

<非常備消防費>

(消防団運営事業)

消防団員の自己退団に伴い退団報償金1,651千円を計上しました。

<消防施設費>

(消防施設整備維持管理事業)

本年度予定の消防団車両の車検費用に不足が見込まれるため83千円を計上しました。

■教育費

<教育諸費>

(善通寺市・高野町交流事業)

今年度の相互交流もオンラインとなったことから、交流事業の関連経費142千円を減額しました。

(ICT推進事業)

第1次GIGA端末が本年度で5年経過したことから入れ替えを行うにあたり、現在利用している端末がリースであるため、機器を返却するための郵送料40千円を計上しました。

<学びの杜施設事業>

(学びの杜施設管理事業)

夏場の猛暑日が長かったことやプールの一般開放を行ったことにより想定していたより電気料金が増加しているため年度末までに不足が見込まれる光熱水費800千円を計上したほか、施設の管理業務の内容を精査した結果、不用が見込まれる委託料771千円を減額しました。

<給食センター費>

(学校給食運営事業)

米の価格上昇により年度末までに不足が見込まれるため、賄材料費1,007千円を計上しました。

(給食センター管理事業)

昨今の物価高騰の影響を受けて電気料金が上昇し、年度末までに不足が見込まれるため光熱水費100千円を計上しました。

■災害復旧費

<現年発生公共土木施設災害復旧費>

(現年発生公共土木施設災害復旧事業)

今年8月と10月の豪雨災害により被災した町道2箇所について、早期復旧を目指すため、工事費65,400千円を計上しました。

■ 予備費

< 予備費 >

歳入歳出の全体調整を予備費にて行いました。

■令和7年度会計別予算推移

(単位：千円)

会計名称		当初	1号補正 (4月専決)	2号補正 (5月専決)	3号補正 (6月定例会)	4号補正 (8月専決)	5号補正 (9月定例会)	6号補正 (11月専決)	6月補正 (12月定例会)				合計	
一般会計		4,195,000	19,100	9,000	30,900	△ 900	161,400	4,800	68,300				4,487,600	
特別会計	国民健康保険事業	439,700					13,900		32,000				485,600	
	介護保険事業	567,800					39,900		8,300				616,000	
	後期高齢者医療事業	138,300					5,500		9,200				153,000	
	高野山総合診療所事業	305,400			1,600		26,100		0				333,100	
	富貴診療所事業	69,000					6,100						75,100	
	富貴財産区	52,000					212						52,212	
	(小計)	1,572,200	0	0	1,600	0	91,712	0	49,500	0	0	0	1,715,012	
一般・特別会計 合計		5,767,200	19,100	9,000	32,500	△ 900	253,112	4,800	117,800	0	0	0	6,202,612	
企業会計	簡易水道事業	収益的	収入	147,991				0		0			147,991	
			支出	147,991				0		0			147,991	
		資本的	収入	59,082				△ 2,000		0				57,082
			支出	82,554				0		0				82,554
	富貴簡易水道事業	収益的	収入	28,241						0				28,241
			支出	28,241						0				28,241
		資本的	収入	14,500						0				14,500
			支出	22,780						0				22,780
	下水道事業	収益的	収入	341,208				0		0				341,208
			支出	341,208				0		0				341,208
		資本的	収入	97,100				△ 33,000		0				64,100
			支出	181,583				△ 26,000		598				156,181
(小計)		804,357	0	0	0	0	△ 26,000	0	598	0	0	0	778,955	
高野町予算規模		6,571,557	19,100	9,000	32,500	△ 900	227,112	4,800	118,398	0	0	0	6,981,567	

※企業会計の小計については、収益的支出及び資本的支出を合算した数値

※補正号数は、一般会計ベースでの記載

※予算総額に増減のない補正予算は「0」で表示